

○原子力発電関係団体協議会会員道県における原子力広報事業概要一覧（平成１８年度）

	北海道	青森県	宮城県	福島県
広報展示室の設置、運営	【設 置】 ○原子力環境センター原子力広報展示室の設置 ・道直営 【運 営】 ○原子力の知識の普及を目的として、一般開放 ・広報展示パネルによる説明 ・ジオラマによる広報ビデオの上映 ・広報用パソコンによる原子力情報の提供 ・来館用記念品の作成・配布（ハガキ） など	なし	【設 置】 ○原子力センター広報展示室「あとみーる」の設置 ・県直営 【運 営】 ○原子力の知識の普及を目的として、一般に開放。 ・広報展示パネルによる説明 ・広報ビデオの上映 ・広報用パソコンによる原子力情報の提供 ・来館用記念品の作成・配布	【設 置】 ○「福島県原子力センター広報展示室」の設置 ・(財)福島県原子力広報協会に委託 【運 営】 ○展示室見学者の案内・説明と展示室・展示品の保守・管理
施設見学会等の実施	なし	なし	○原子力の知識の普及を目的とした、施設見学会を実施。 ・団体見学会 ・親子見学会	○随時実施
講演会、各種イベント等の開催	○原子力の知識の普及を目的とした講演会を実施。	○放射線等に関する説明会を県内各地で開催。	○原子力の知識の普及を目的とした講演会を実施。	○原子力に関するテーマとその他のテーマの２題をセットにした講演会を開催 ・立地町等で５回開催 ○移動展示館の開催 ・関係市町村の産業祭等のイベント時に原子力コーナーを設置（立地町等で８回開催） ○「原子力を考える日」事業の実施 ・小学校高学年生による体験学習事業（年２回） ・意見交換会、絵画書道展、科学実験教室等の開催（年１回） ○「ふれあいの広場」 ・映画教室、親子科学実験教室の開催（年１１回程度）
広報誌、各種パンフレット等による広報	【広報誌】 ○広報誌「ほっかいどう原子力環境だより」の発行 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○各種パンフレットの作成 ・北海道の原子力２００６ ・原子力環境センターリーフレット ・北海道原子力防災カレンダー ・なるほど!!げんしりょく（小学校低学年向け）	【広報誌】 ○県内における原子力に関する情報を提供し、理解促進を図る。 ・原子力だよりＡＥ （年４回） ・青森県の原子力行政 （年１回） ・原子力ポケットブック（年１回） 【パンフレット等】 ○原子力施設周辺の空間放射線量率等の測定結果等の情報をパンフレット・新聞等により提供する。	【広報誌】 ○広報誌「原子力だよりみやぎ」の発行 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○各種パンフレットの作成 ・原子力センターパンフレット ・原子力センターリーフレット ・原子力ハンドブック ・２００７宮城県の原子力行政	【広報誌】 ○広報誌「アトムふくしま」の発行 ・年６回発行 ・臨時増刊号２回発行 【パンフレット等】 ○２種類程度作成（立地６町等に各戸配布） ・原子力・放射線に関する基礎的なもの ・原子力・放射線に関する詳細なもの 等 ○原子力行政のあらまし平成１８年
マスコミ（新聞（広告）、テレビ（ＣＭ）、ラジオ）による広報	なし	【新 聞】 ○原子燃料サイクルについて、知識普及を図るため、地元新聞３紙に広報を掲載。 【テレビ】 ○原子力発電・原子燃料サイクル事業についての理解促進を図る。（３０分番組） 【ラジオ】 ○農林水産従事者・主婦等をターゲットにし、原子力に関する知識の理解促進を図る。（ＡＭ、ＦＭ）	なし	【新 聞】 ○環境放射能監視測定結果や測定体制等の広報 ・地元２紙に掲載（７段、年５回）
ホームページによる広報	○インターネットホームページの公開 ・北海道原子力環境センターの紹介 ・北海道原子力環境だより ・環境放射線モニタリングデータ ・農業・水産研究科の試験研究内容 など	なし	○インターネットホームページの公開 ・広報展示室「あとみーる」の紹介 ・原子力だよりみやぎ ・原子力ハンドブック ・温排水調査結果 ・環境放射能調査結果	○インターネット広場 ・広報誌「アトムふくしま」を基本に作成・掲載
研修会の開催	なし	なし	なし	○原子力セミナー（高校生・大学生対象） ・放射線の実験と原子力発電所の見学（７学級程度） ○原子力研修会（一般住民対象） ・県外の原子力発電所の見学（主に立地町、周辺市町村の一般住民を対象）
その他	なし	○小学校４年生向けの社会科学習参考教材を作成し、県内全小学校４年生に配付。また、これを活用した課外授業を実施。	なし	

○原子力発電関係団体協議会会員道県における原子力広報事業概要一覧（平成１８年度）

資料第２－２号

	茨城県	新潟県	石川県	福井県
広報展示室の設置、運営	過去に県立展示施設はあったが、現在は(社)茨城原子力協議会が設置・運営している。	【設 置】 ○「新潟県柏崎原子力広報センター」の設置 ・(財)柏崎原子力広報センターに管理委託 原子力の知識の普及を目的として一般に開放。 ・広報展示パネルによる説明 ・原子力関係講座の実施 ・原子力関係資料・書籍の配架 ・来館用記念品の作成・配布	【設 置】 ○「能登原子力センター」の設置 ・(財)能登原子力センターが運営 【運 営】 ○展示品の整備 ・「燃料輸送ゲーム」改修	【設 置】 ○「あっとほうむ」の設置 ・財団に管理委託
施設見学会等の実施	○原子力施設見学会の開催 ・県内原子力施設を対象（一般県民対象、年４回）	○原子力の知識の普及を目的とした施設見学会〔委託事業〕 ・管内市町村住民対象	○見学会の開催 ・志賀原子力発電所見学会 ・親子見学会：大阪市立科学館他	なし
講演会、各種イベント等の開催	○茨城県に原子力施設が立地して50年を記念して茨城原子力５０周年記念事業（式典・講演会・イベント）を実施	なし	○講演会の開催 ・原子力の日記念行事としての講演会の実施 ○リニューアルオープン祭 ○こどもフェスタ ○親子電気バス ○アトム教室の開催 ・小学生を対象：国立能登青年の家を中心とした研修	○サイエンスワールド ・小中学生を対象に、原子力や科学について楽しく体験させ、原子力の正しい知識を普及啓発する（２日間） ○きつずパーク ・電気やエネルギーについて、幼・小中学生が楽しく体験学習する（春、秋に開催） ○原子力の日記念イベント ・原子力に対する理解と基本知識の習得を図る
広報誌、各種パンフレット等による広報	【広報誌】 ○広報誌「あす」の発行 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○副読本等の作成 ・小学校（４年生）、中学校（１年生）、高校生（１年生）及び教員（養護学校等を含む）を対象に配布 ・小・中学生用の副読本の一部を映像化	【広報誌】 ○広報誌「原子力だより」の作成 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○広報パンフレット「新潟県の原子力発電」の作成 ・年１回発行	【広報誌】 ○広報誌「あともす」の発行 ・年６回発行（志賀町及び周辺３市町との共同事業） 【パンフレット等】 ○案内パンフレットの作成	【広報誌】 ○広報誌「あっとほうむ」の発行 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○やさしい原子力 ・来館者に配布（年１回発行） ○エネルギー研修ガイドブック ・「あっとほうむ」の施設紹介や「アトムバス」「原子力講座」等のエネルギー研修などを総合的に紹介（年１回発行）
マスコミ（新聞（広告）、テレビ（CM）、ラジオ）による広報	【新 聞】 ○原子力の日前後と年度末に広報 ・原子力の日前後（全７段、中央５紙、地方２紙） ・年度末（全５段、中央５紙、地方２紙） 【ラジオ】 ○原子力Ｑ＆Ａ形式で放送（広報誌「あす」掲載の質問・意見募集により採択） ・２回／日（１回３分程度）を１か月間（原子力の日前後）	【新 聞】 ○原子力発電所周辺環境放射線監視調査結果及び温排水等漁業調査の結果を掲載 ・地元２紙、中央５紙	【テレビ】 ○テレビCMの放映 ・センターを紹介するテレビスポット１５秒を作成・放映（県内民放４社、毎週１回以上）	【テレビ】 ○テレビスポット放映 ・原子力センターのイベント情報等の告知（２局）
ホームページによる広報	○インターネットホームページの公開 ・茨城県原子力安全対策課ホームページ ・いばらきの原子力安全行政 ・原子力ハンドブック ・記者発表一覧	○インターネットホームページの公開 ・新潟県の原子力行政の紹介 ・環境放射線監視データの公開 ・環境放射線調査結果の公開 ・こども向けコンテンツ「エネルギー研究所」	○センターPR用電柱広告、ホームページ保守	○インターネットホームページの公開 ・「あっとほうむ」の紹介 ・広報誌、パンフレット ・イベント情報
研修会の開催	○原子力教員セミナーの開催 ・驚異等を対象とした体験型原子力講習会（年９回） ○原子力ガイドブック活用等に関する教員研修会の開催 ・県内の小・中学校等の教員対象	なし	○講演会の開催 ○先進地視察	○原子力講座・科学実験教室の開催 ・「総合的な学習の時間」等で科学・エネルギー・電気などに関する教育に役立つ講座・実験を実施
その他	○小中高校生用原子力ハンドブックを配布 ○所在及び隣接市町村へ交付金を間接交付 ○市町村が行う原子力・エネルギーに関する教育支援事業に助成	「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」 柏崎刈羽原子力発電所立地地域の住民の参画により、発電所の安全性・透明性確保に関する事業者の取り組み、並びに国及び関係自治体の活動状況等を、継続して確認・監視し、提言等を行うことにより、発電所の安全を確保することを目的とした会。 平成15年5月に発足。活動継続中（県が運営費を交付金により負担）	○原子力広報用資料の購入 ・閲覧コーナー用雑誌・図書等 ○環境放射線広報キャラバン隊 ・周辺市町で実施されるイベント等に参加し、放射線、放射能に係る広報を実施（年間10回） ○環境放射線測定教室 ・周辺高等学校の生徒を対象に放射線、放射能に係る実験講座を実施（年間１回）	○アトムバス ・原子力センターと県内発電所の見学団体に対するバス代の補助

○原子力発電関係団体協議会会員道県における原子力広報事業概要一覧（平成１８年度）

	静岡県	島根県	山口県	愛媛県
広報展示室の設置、運営	【設　置】 ○「静岡県原子力広報研修センター」の設置 ・管理運営は立地市（御前崎市）へ委託	【設　置】 ○「島根県原子力環境センター」の設置 ・県直営 【運　営】 ○オフサイトセンター展示パネル ・更新３年ぶり更新 ○原子力環境センター展示パネル ・更新２年ぶり更新	なし	【設　置】 ○「伊方原子力広報センター」の設置 ・（財）伊方原子力広報センターに委託 【運　営】 ・原子力の知識の普及を目的として一般に開放 ・広報展示パネルによる説明 ・展示品による原子力広報 ・広報用パソコンによる原子力情報の提供等
施設見学会等の実施	なし	○原子力関連施設見学会 ・見学先：発電所・環境センター・オフサイトセンター（年３回程度）	なし	○原子力発電に関する知識の普及啓発を図るため、原子力施設（伊方発電所、原子力保安研修所等）見学会の実施
講演会、各種イベント等の開催	○講演会、セミナー等の開催 ・県内教職員向け「原子力講座」 ・県内市町・消防職員等向け「原子力講演会」 ・中学生以上の県民向け「目で見える放射線教室」	なし	なし	○原子力講演会の開催 ・原発立地周辺住民対象（年１回）。 ○身の回りの放射線測定体験教室の開催 ・対象：小学校４～６年生、中学生及びその保護者（１５組） ○環境教室（身近な自然放射線について正しい知識の習得を目的） ・原発立地周辺地域の小・中学校各１校対象 ○愛媛県ブルサーマル公開討論会 ・対象：愛媛県民 ・ブルサーマルに推進・慎重各３名の学識経験者によるパネルディスカッション及び参加者との質疑応答を内容とする県主催の公開討論会
広報誌、各種パンフレット等による広報	【広報誌】 ○広報誌「静岡原子力だより」の発行 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○パンフレットの制作・配布 ・静岡県の原子力発電（年１回年度末発行・配架）	【広報誌】 ○原子力広報誌 ・アトムの広場（年２回発行） ・アトムの広場（号外発行）新聞折り込み（地元紙１紙・全県、２回） 【パンフレット等】 ○原子力防災のしおり／松江市報とともに配布 ○原子力防災のしおり（小学校用）／教育委員会等を通じて児童に配布 ○原子力防災のしおり（中学校用）／教育委員会等を通じて生徒に配布 ○原子力広報誌「アトムの広場」号外発行／新聞折り込み（地元紙１紙・全県、３回）	なし	【広報誌】 ○広報誌「えひめ原子力だより」の発行 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○子ども向け広報資料の作成・配布 ・１種類 パンフレットの購入・配布 ・１種類
マスコミ（新聞（広告）、テレビ（CM）、ラジオ）による広報	【新　聞】 ○環境放射能調査結果の新聞広報（年４回）	【新　聞】 ○新聞広報 ・放射線測定結果・原子力施設見学会周知（地元紙１紙・全県、年２回掲載） ・原子力防災訓練広報新聞折り込み（７紙・ＥＰＺ内） ・考える県政（県政新聞広報の枠を利用） 【テレビ】 ○県政ＴＶ番組「シマネスクNOW　ご存知ですかブルサーマル計画」放送	○エネルギー（原子力を含む。）に関する知識の普及を目的とした広報を実施 ・新聞広報 ・テレビスポット ・ラジオスポット	【新　聞】 ○新聞広報 ・「原子力の日（１０月２６日）」のPRとして地元紙に原子力関連広告を掲載 ○新聞折込広報 ・原子力に関する正しい知識の普及啓発及び行事の参加者募集等を内容とする新聞折込チラシの作成及び折り込み（３回実施） 【テレビ】 ○テレビ広報（民放スポット・地元CATVほか）
ホームページによる広報	○環境放射線監視センターホームページ	○インターネットホームページの公開	なし	○愛媛県原子力情報ページ ・環境放射線データ ・伊方３号機ブルサーマル計画について ・伊方発電所異常通報報道発表資料一覧等 ・伊方発電所の運転状況 ○伊方原子力広報センターホームページ ・えひめ原子力だより
研修会の開催	なし	なし	○消費者団体を対象としてエネルギー（原子力を含む。）に関する研修会を実施	
その他	○温排水影響調査事業（水産試験場開発研究室） ・浜岡原発5号機運転開始に伴う調査 ○立地市、隣接市への間接交付金	○冊子「島根県の原子力」（３年ぶり発行）	なし	

○原子力発電関係団体協議会会員道県における原子力広報事業概要一覧（平成１８年度）

	佐賀県	鹿児島県
広報展示室の設置、運営	なし	【設　置】 ○原子力情報展示ルームの設置 ・県直営 【運　営】 ○原子力の知識の普及を目的として、一般に開放。 ・テレメータモニタによる空間放射線量の表示 ・原子力安全対策解説ビデオの上映 ・各種パネル、ジオラマ等の展示 ・広報用パソコンによる各種原子力情報の提供
施設見学会等の実施	なし	○原子力広報・安全等実態調査の実施 ・関係市原子力広報担当者と供に、他道県の原子力発電所等を視察することにより原子力に関する見識を深めることを目的とした視察会を実施。
講演会、各種イベント等の開催	○原子力だより「海風つーしん」に関して、周辺地域住民の代表の方々から意見を聴取し、原子力広報の効果的な推進を図る（各市町から委員各３名、年１回）	なし
広報誌、各種パンフレット等による広報	【広報誌】 ○原子力だより「海風つーしん」の発行 ・年５回発行 【パンフレット等】 ○原子力だより「ふれあい通信」の発行（玄海３号機ブルサーマル計画実施の同意について） ・県下の全世帯に配布（新聞折り込み・５紙）	【広報誌】 ○広報誌「原子力だよりかごしま」の発行 ・年４回発行 【パンフレット等】 ○各種パンフレット等の作成 ・鹿児島県の原子力行政 ・川内原子力発電所の運転状況 ・温排水調査結果報告書 ・環境放射線調査のあらまし
マスコミ（新聞（広告）、テレビ（CM）、ラジオ）による広報	【新　聞】 ○ブルサーマル計画の事前了解について（全１５段） ・県下の全世帯（６紙） ○平成１７年度環境放射能調査結果（全８段） ・県下の全世帯（５紙） ○ブルサーマル計画事前了解の理由について（全７段） ・県下の全世帯（６紙）	○新聞での広告 ・年４回　環境放射線調査結果を掲載 ○ラジオでの広告 ・「原子力の日」を紹介
ホームページによる広報	○情報名：佐賀県の原子力安全行政 ・原子力安全行政の内容（安全協定、環境放射能調査、原子力防災対策、広報事業） ・佐賀県の原子力安全行政組織 ・環境放射線リアルタイム表示 ・インフォメーション（事故情報、記者発表） ・原子力だより「海風つーしん」バックナンバー ・資料編（原子力年表、過去の事故情報） ・リンク集	○インターネットホームページの公開 ・環境放射線監視状況 ・空間放射線の調査データ ・気象関係調査データ ・排気筒・発電機出力等データ ・監視体制の紹介と解説
研修会の開催	原子力発電に関する研修会（自治体職員対象）	○原子力研修会の開催 ・各関係機関の担当者が対象
その他	なし	なし